

メイメイ



令和7年
7・9月

青春のページ

六月二十九日(日)から七月三日(木)まで、後期課程連合修学旅行がありました。今年は、長崎県、佐賀県、福岡県、熊本県の四県で活動をしました。

一日目 午前中は鹿児島県から長崎県にバスで移動をしました。長崎県に到着し、午後からは平和学習が始まりました。



【平和祈念像(長崎)】

まず、平和祈念像に行き、平和への誓いを修学旅行生全員で行いました。その後、原爆資料館に行きました。原爆の模型や焼け焦げた遺品、原爆投下直後の町の様子などの資料を見たり、被爆者講話を聞いたたりして「原爆の恐ろしさ」や「命のありがたさ」を実感することができました。

三日目 熊本県に移動しグリーンランドに行きました。あまり話せなかった人とも話すことができ、楽しかったです。ジェットコースターや観覧車、GOカートなど、もちろん島にはない乗り物がたくさんあり、おもいつきり遊ぶことができました。

今回の四泊五日の修学旅行ではたくさんのことを学ぶことができました。戦争の辛さ、悲惨さや仕事の大切さ、ありがたさなどを学びました。また、仲間と協力することの大切さ、生きていることの幸せなども感じることもできました。学んだ全てのことをこれからに生かしていきたいです。



【キッザニア(福岡)】



島の風を感じて

九月五日(金)〜七日(日)にボゼツアーが行われ、約五十人のお客さんが宝島を訪れました。宝島ではワークショップや、スティールパン演奏の鑑賞・スティールパンの体験をしていました。

ワークショップでは島の布を使ってタンブラー制作を行っていました。ビーチハウスで行ったため、ロケーションもばっちりです。島の良さを存分に感じてもらえたと思います。ビーチハウスにはお土産の販売コーナーもあり、島民の人がつくった小物や壁画グッズ等が販売されていました。

夜のスティールパン演奏はマリンキッズ・タカラが行いました。二学期はじめてということもあり、練習



【スティールパン演奏】

夏の思い出

夏が終わったので、三名の方に夏の思い出を聞いてみました。

大川 当太郎さん

友達と一緒に遊園地に行ったら、ジェットコースターはやってなかった。その後、コロナにかかった。

東京以外の海に行って平泳ぎで泳いだ。

三栖 勇輝先生

八月一日の便で愛知県刈谷市に行った。現在教員五年目なのですが、教員一〜二年目のころに小学校で担任をした子たちが受験生になっていた。高校受験頑張れ。ブラジリアン柔術をしている友人と久しぶりに手合わせした。ポコポコにされた。次は負けなようにしたい。

市川 喜翔さん

猛暑の東京に行った。電車の車種が多すぎて8番出口級にさまよった。田舎感丸出しで恥ずかしかった。

また、地下鉄の駅がわかりにくくて地下鉄と地下駐車場を間違えた。亀有に行こうとして上野駅行きの電車に乗っていた。

秋葉原で夢であったカードショップに行き、行って散財してしまった。

みなさんは、どんな夏の思い出ができましたか。二学期も楽しい思い出を作りたいですね。



運動会と感謝の思い

九月二十一日（日）第七十八回宝島

大運動会が晴天の下、開催されました。

猛暑日の中、紅組、白組両者とも一歩も引かず、熱い戦いになりました。

まず、始めは団長たちの選手宣誓と力強いエール交換で宝島全体を鼓舞しました。

全員で声を出したエール交換のおかげで、二種目のかけっこ・徒競走への気持ちを高めることができました。紙面の都合上、二つの種目のみ、詳細を書きま

す。
一つ目は、児童生徒種目のかけっこ・徒競走です。



【ティラノサウルスレース（壮年）】

二、三、四年生は切磋琢磨していました。五、六年生は紅白の逆転劇があり、とても白熱しました。後期生はア

クシデントもありましたが、力強い走りを見せられました。



【荷役女子（婦人会）】

きです。

一戦目は、紅組が序盤の優勢を保ちながら勝利しました。

しかし、二戦目から状況が変わりました。声と気持ちを合わせた白組が優勢となり、三戦目も制したのです。

宝島大運動会は白組勝利という形で幕を閉じました。

運動会後の全校朝会で、校長先生が言われた、「感謝の気持ちをもつこと」を胸に刻んで、運動会で学んだことを生活につなげたいです。



【応援合戦（紅組）】



【応援合戦（白組）】

おじいちゃんとおばあちゃんと一緒に！

九月十五日（月）に敬老会がありました。

午後一時に、ななしまに乗ったり、島内を車で回ったりした後、午後二時からコミセンで、祝賀会が開かれました。

祝賀会では、婦人会の方が作ってくださった弁当を食べて、いまさら園の園児たちが歌を歌って、おばあちゃんたちと交流しました。

次に、宝島学園の児童生徒と一緒に、一昨年、好評だった紅白旗上

げゲームをしてから、三線にあわせておばあちゃんたちの肩もみをしました。また、毎年恒例のメツセージもプレゼントしました。その後、青年団による絵しりとりにゲームをし、最後に、カラオケで歌を歌いました。みなさん、とても楽しそうにしていました。おばあちゃんおじいちゃん、これからも元氣にお過ごしください。



【心をこめて肩をもみました】

日々の成長と日記の紹介

ボゼツアのお手伝い

町田 紫夢

うみ

坂元 心都

今日は、ボゼ便でいろいろな観光客がいらつしたのでイベントのお手伝いをしました。私と、笑和と、もつちゃんと、みゆさんでやりました。最初はきんちょうしていただけど、どんどんなれてきて、お会計や商品のオススメ、声かけ、お客さんとのコミュニケーション、そしてラッピングなどができるようになりました！

きのう、うみにいきました。うみのなかには、つめたくてきもちよかったです。あとからかんのちゃんがきて、いっしょにすいちゅうおにごっこをしました。私は、二回鬼になりました。くやしかったけど、さいごの夏がたのしみでした。らいねんもたのしいなつに、いや、すごいなつにしたいです。

特に私の心に残ったのは、商品のオススメです。最初は、もつちゃんが商品のオススメなどをしていたのですが、どんどん見て、聞くうちにわかってきて、商品のオススメができるようになりました。「このファイルは港のへきがなんですよ！」などと言って、また一つ成長した気がしました。また、ほかのお手伝いも頑張ります。

